

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成 18 年 12 月 7 日 (2006.12.7)

【公開番号】特開 2006-158037(P2006-158037A)
 【公開日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-023
 【出願番号】特願 2004-342351(P2004-342351)
 【国際特許分類】

H 0 2 K 1/27 (2006.01)

H 0 2 K 1/22 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 1/27 5 0 1 K

H 0 2 K 1/27 5 0 1 A

H 0 2 K 1/27 5 0 1 D

H 0 2 K 1/27 5 0 1 E

H 0 2 K 1/22 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 19 日 (2006.10.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ロータに設けた孔部に磁石を配置する埋め込み磁石型のロータにおいて、前記ロータは、前記孔部を有する軸方向に分割された複数のロータ部材と、前記各ロータ部材の間に配置される仕切り板とを備え、前記複数のロータ部材と仕切り板とを軸方向に積層して一体的に形成されていることを特徴とする埋め込み磁石型のロータ。

【請求項 2】

前記仕切り板は鋼板材であって絶縁層でコーティングされていることを特徴とする請求項 1 に記載の埋め込み磁石型のロータ。

【請求項 3】

前記ロータ部材と仕切り板は同一素材の電磁鋼板であることを特徴とした請求項 2 に記載の埋め込み磁石型のロータ。

【請求項 4】

前記仕切り板は、磁石が当接する位置に、開口部を有していることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の埋め込み磁石型のロータ。

【請求項 5】

前記仕切り板は、非導電体であることを特徴とする請求項 1 に記載の埋め込み磁石型のロータ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

請求項 2 に記載した発明によれば、請求項 1 の効果に加え、磁石間の渦電流の導通を避

断して磁石の発熱を抑制し、減磁が生じないようにすることができるため、エネルギー効率を向上させることができる効果がある。